

大学番号 公立3

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人福島県立医科大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	保健科学部事務室
職名・氏名	シュジ ワタナベ タカカリ 主事 渡部 貴成
電話番号	024-581-5508
（夜間）	024-581-5508
e-mail	ken@fmu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健科学部

<理学療法学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	40

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人福島県立医科大学

(2) 大学名

福島県立医科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒960-8516
福島県福島市栄町10番6号
(〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地)

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タケノシタ セイイチ) 竹之下 誠一 (令和2年4月1日)		
学長	(タケノシタ セイイチ) 竹之下 誠一 (令和2年4月1日)		
学部長	(ヤブキ ショウジ) 矢吹 省司 (令和3年4月1日)		
学科長等	(カンザキ ヒデト) 神先 秀人 (令和3年4月1日)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
保健科学部 理学療法学科 学士 (理学療法)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4年	40人	年次人	160人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	40 (-) [-]										1.00 倍		
志願者数	79 (-) [-]	(-) [-]											
受験者数	76 (-) [-]	(-) [-]											
合格者数	41 (-) [-]	(-) [-]											
B 入学者数	40 (-) [-]	(-) [-]											
入学定員超過率 B/A	1.00												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

- ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	40 [-] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			40 [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	40 人	0 人	令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
令和7年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健科学部 理学療法学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次科目	修学基礎セミナー	1前	1			2					8	
	福島県を知る	1前	1			1					9	
	ライフデザイン	1前	1								1	
	小計(3科目)	—	3	0	0	2	0	0	0	0	12	
	自然科学系科目	数学Ⅰ	1前		1							2
		数学Ⅱ	1後		1							2
		応用数学	2前		1							2
		統計学	1前	1								1
		情報処理	1前	1								3
		化学Ⅰ	1前		1							1
		化学Ⅱ	1後		1							1
		生物学Ⅰ	1前		1							1
		生物学Ⅱ	1後		1							1
		物理学Ⅰ	1前		1							2
		物理学Ⅱ	1後		1							2
		自然科学実験	1前	1								4
	小計(12科目)	—	3	9	0	0	0	0	0	0	8	
	人文・社会科学系科目	コミュニケーション論	1前	1								3
		言語と社会	1前		1							1
		人間関係論	2後	1								1
		哲学	4後		1							1
		心理学	1後	1								4
		倫理学	1前	1								1
		文学	1前		1							1
		歴史と社会	1前		1							1
		死生観	2前		1							1
		福島県の医療環境	1後	1			1			2		8
		社会福祉学	2前		1							1
		人間と教育	1後		1							1
		日本国憲法	4後		1							1
国際関係論		3前		1							1	
ジェンダー・セクシュアリティ論		3前		1							1	
小計(15科目)	—	5	10	0	1	0	0	2	0	22		
外国語科目	英語ⅠA	1前	1								3	
	英語ⅠB	1後	1								3	
	英語ⅡA	2前	1								3	
	英語ⅡB	2後	1								3	
	英語Ⅲ	4後		1							2	
	ドイツ語	1後		1							1	
	フランス語	1後		1							1	
	中国語	1後		1							1	
	スペイン語	1後		1							1	
小計(9科目)	—	4	5	0	0	0	0	0	0	5		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次科目	修学基礎セミナー	1前	1			2					8	
	福島県を知る	1前	1			1					9	
	ライフデザイン	1前	1								1	
	小計(3科目)	—	3	0	0	2	0	0	0	0	12	
	自然科学系科目	数学Ⅰ	1前		1							2
		数学Ⅱ	1後		1							2
		応用数学	2前		1							2
		統計学	1前	1								1
		情報処理	1前	1								3
		化学Ⅰ	1前		1							1
		化学Ⅱ	1後		1							1
		生物学Ⅰ	1前		1							1
		生物学Ⅱ	1後		1							1
		物理学Ⅰ	1前		1							2
		物理学Ⅱ	1後		1							2
		自然科学実験	1前	1								4
	小計(12科目)	—	3	9	0	0	0	0	0	0	8	
	人文・社会科学系科目	コミュニケーション論	1前	1								3
		言語と社会	1前		1							1
		人間関係論	2後	1								1
		哲学	4後		1							1
		心理学	1後	1								4
		倫理学	1前	1								1
		文学	1前		1							1
		歴史と社会	1前		1							1
		死生観	2前		1							1
		福島県の医療環境	1後	1			1			2		8
		社会福祉学	2前		1							1
		人間と教育	1後		1							1
		日本国憲法	4後		1							1
国際関係論		3前		1							1	
ジェンダー・セクシュアリティ論		3前		1							1	
小計(15科目)	—	5	10	0	1	0	0	2	0	22		
外国語科目	英語ⅠA	1前	1								3	
	英語ⅠB	1後	1								3	
	英語ⅡA	2前	1								3	
	英語ⅡB	2後	1								3	
	英語Ⅲ	4後		1							2	
	ドイツ語	1後		1							1	
	フランス語	1後		1							1	
	中国語	1後		1							1	
	スペイン語	1後		1							1	
小計(9科目)	—	4	5	0	0	0	0	0	0	5		

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・兼任教員の就任により、「物理学Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
 ・兼任教員の退職により、「疫学・公衆衛生学」の兼任・兼任教員数を「8」から「7」に変更。

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
88 科目	39 科目	0 科目	127 科目	88 科目 []	39 科目 []	0 科目 []	127 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{127} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	福島駅前キャンパス (保健科学部) 借用面積 3,000.01㎡ 借用期間30年		
	校舎敷地	124,746.01㎡	㎡	㎡	124,746.01㎡			
	運動場用地	46,197㎡	㎡	㎡	46,197㎡			
	小 計	170,943.01㎡	㎡	㎡	170,943.01㎡			
	そ の 他	287,741㎡	㎡	㎡	287,741㎡			
	合 計	458,684.01㎡	㎡	㎡	458,684.01㎡			
(2) 校 舎	専 用	142,617.83㎡	㎡	㎡	142,617.83㎡			
	(142,617.83㎡)	(㎡)	(㎡)	(142,617.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	36室	23室	49室	4室 (補助職員 0人)	2室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	保健科学部 理学療法学科			12 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 237,788冊 [96,482冊] 学術雑誌(電子ジャーナルを除く) 7,753種 [3,174種] 電子ジャーナル 9,500種 [8,039種] 図書等について修正。 ・学科専有図書、雑誌の一部を学部共有に変更。 ・当初申請時の外国書数(学部共有)及び電子ジャーナル種数の計上方法に誤りがあったため修正。(3)
	保健科学部 理学療法学科	1,494 [212] (250 [5])	41 [-27] 34 [22]	39 [-27] 22 [22]	83 (9)	193 (69)	0 (0)	
	保健科学部 作業療法学科	1,428 [185] (375 [0])	50 [-28] 41 [24]	39 [24] 24 [24]	79 96 (96)	201 (139)	0 (0)	
	保健科学部 診療放射線科 学科	2,248 [408] (625 [37])	23 [15] (23 [15])	20 15 [15]	14 (14)	76 (27)	13 (5)	
	保健科学部 臨床検査学科	1,342 [152] (667 [0])	33 [-14] 29 [12]	30 [-13] 12 [12]	170 (0)	218 (107)	4 (4)	
	保健科学部 学部共有	2,374 [-15] [521]	0 [-0] 11 [9]	0 [-0] 9 [9]	0 (0)	31 (31)	30 (30)	
	計	8,886 [-972] (1,478) [563]	147 [-84] 138 [82]	128 [-79] 82 [82]	346 363 (112)	719 (373)	47 (39)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	4,865.09㎡	403		350,000				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	4,430㎡	野球場(1面)、庭球場(5面)、洋弓場、和弓場						

区 分		内 容							備考
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベース整備費（運営コストを含む） 研究費等を予算委員会決定額に更新。図書購入費及び設備購入費を予算額から購入金額に修正。（3）
		教員 1 人当り研究費等	450千円 499千円	450千円	図書購入費	39,477千円 38,694千円	76,824千円	54,872千円	
	共 同 研 究 費 等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	1,197,296千円 1,083,437千円	1,663,607千円	0千円		
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
	県内出身者 818千円	536千円	536千円	536千円	-	-	-		
	県外出身者 1,100千円								
学生納付金以外の維持方法の概要			運営費交付金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 3 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(3)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	福島県立医科大学					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	
医学部	6	130	0	780	-	1.00	1.00	-	昭和27	-
医学科	6	130	0	780	学士(医学)	1.00	1.00	-	昭和27	福島県福島市光が丘1番地
看護学部	4	84	0	336	-	1.00	1.00	-	平成10	-
看護学科	4	84	0	336	学士(看護学)	1.00	1.00	-	平成10	福島県福島市光が丘1番地
保健科学部	4	145	0	580	-	1.00	1.00	-	令和3	-
理学療法学科	4	40	0	160	学士(理学療法)	1.00	1.00	-	令和3	福島県福島市栄町10番6号
作業療法学科	4	40	0	160	学士(作業療法)	0.95	0.95	-	令和3	同上
診療放射線科学科	4	25	0	100	学士(診療放射線科学)	1.00	1.00	-	令和3	同上
臨床検査学科	4	40	0	160	学士(臨床検査)	1.00	1.00	-	令和3	同上
大学全体	-	359	0	1696	-	-	-	-	-	-
大学院 医学研究科医科学専攻(M)	2	10	0	20	修士(医科学)	0.75	0.60	-	平成20	福島県福島市光が丘1番地
大学院 医学研究科医学専攻(D)	4	37	0	148	博士(医学)	0.87	0.95	-	昭和36(平成21)	同上
大学院 医学研究科 災害・被ばく医療科学 共同専攻医科学コース(M)	2	5	0	10	修士(医科学)	0.80	0.80	-	平成28	同上
大学院 医学研究科 災害・被ばく医療科学 共同専攻看護学コース(M)	2	5	0	10	修士(看護学)	0.60	0.40	-	平成28	同上
大学院 看護学研究科看護学専攻(M)	2	10	0	20	修士(看護学)	0.80	0.80	-	平成14	同上
大学院全体	-	67	0	208	-	-	-	-	-	-

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<保健科学部 理学療法学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	矢吹 省司 <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	矢吹 省司 <令和3年4月> 博士(医学)
		修学基礎セミナー※ 福島県を知る※ 福島県の医療環境※ 機能解剖学※ 解剖学実習※ リハビリテーション医学※ 整形外科学※ 老年学※ がんリハビリテーション学※ 臨床技術基礎演習※ リハビリテーション概論※ 災害リハビリテーション論※ チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 卒業研究 理学療法研究法演習 痛みに対する理学療法学※ 痛みに対する理学療法学演習※			修学基礎セミナー※ 福島県を知る※ 福島県の医療環境※ 機能解剖学※ 解剖学実習※ リハビリテーション医学※ 整形外科学※ 老年学※ がんリハビリテーション学※ 臨床技術基礎演習※ リハビリテーション概論※ 災害リハビリテーション論※ チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 卒業研究 理学療法研究法演習 痛みに対する理学療法学※ 痛みに対する理学療法学演習※
専	教授	神先 秀人 <令和3年4月> 博士(保健学)	専	教授	神先 秀人 <令和3年4月> 博士(保健学)
		運動学※ 運動学演習※ チーム医療Ⅰ(概論)※ 理学療法概論※ 理学療法研究法演習 生体運動計測学※ 卒業研究 運動器障害理学療法学※ 運動器障害理学療法学演習※ 運動器障害理学療法学特論※ 予防理学療法学※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			運動学※ 運動学演習※ チーム医療Ⅰ(概論)※ 理学療法概論※ 理学療法研究法演習 生体運動計測学※ 卒業研究 運動器障害理学療法学※ 運動器障害理学療法学演習※ 運動器障害理学療法学特論※ 予防理学療法学※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習
専	教授	高橋(高橋) 仁美 <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	高橋(高橋) 仁美 <令和3年4月> 博士(医学)
		修学基礎セミナー※ 機能解剖学※ リハビリテーション医学※ 研究方法論※ 理学療法概論※ 理学療法研究法演習 卒業研究 運動療法学 運動療法学演習 内部障害理学療法学※ 内部障害理学療法学演習※ 内部障害理学療法学特論※ 理学療法発展領域※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			修学基礎セミナー※ 機能解剖学※ リハビリテーション医学※ 研究方法論※ 理学療法概論※ 理学療法研究法演習 卒業研究 運動療法学 運動療法学演習 内部障害理学療法学※ 内部障害理学療法学演習※ 内部障害理学療法学特論※ 理学療法発展領域※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習
専	教授	柴 喜崇 <令和3年4月> 博士(老年学)	専	教授	柴 喜崇 (55) <令和3年4月> 博士(老年学)
		生理学実習※ 理学療法概論※ 理学療法研究法演習 卒業研究 理学療法管理学※ 理学療法評価学Ⅰ※ 理学療法評価学Ⅱ※ 理学療法評価学演習※ 神経障害理学療法学※ 神経障害理学療法学演習※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			生理学実習※ 理学療法概論※ 理学療法研究法演習 卒業研究 理学療法管理学※ 理学療法評価学Ⅰ※ 理学療法評価学Ⅱ※ 理学療法評価学演習※ 神経障害理学療法学※ 神経障害理学療法学演習※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	森下 慎一郎 <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	森下 慎一郎 <令和3年4月> 博士(医学)
		がんリハビリテーション学※ チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 理学療法概論※ 理学療法研究法演習 国際理学療法論※ 卒業研究 理学療法評価学演習※ 内部障害理学療法学※ 内部障害理学療法学演習※ 内部障害理学療法学特論※ 予防理学療法学※ がん理学療法学 がん理学療法学演習※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			がんリハビリテーション学※ チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 理学療法概論※ 理学療法研究法演習 国際理学療法論※ 卒業研究 理学療法評価学演習※ 内部障害理学療法学※ 内部障害理学療法学演習※ 内部障害理学療法学特論※ 予防理学療法学※ がん理学療法学 がん理学療法学演習※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習
専	准教授	横塚(横塚)美恵子 <令和3年4月> 博士(障害科学)	専	准教授	横塚(横塚)美恵子 <令和3年4月> 博士(障害科学)
		生理学実習※ 老年学※ 理学療法研究法演習 卒業研究 物理療法学※ 物理療法演習 老年期理学療法学 老年期理学療法学演習 予防理学療法学※ 予防理学療法学演習※ 地域理学療法学※ 地域理学療法学演習 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			生理学実習※ 老年学※ 理学療法研究法演習 卒業研究 物理療法学※ 物理療法演習 老年期理学療法学 老年期理学療法学演習 予防理学療法学※ 予防理学療法学演習※ 地域理学療法学※ 地域理学療法学演習 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習
専	准教授	阿部 浩明 <令和3年4月> 博士(医学)	専	准教授	阿部 浩明 <令和3年4月> 博士(医学)
		機能解剖学※ チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 理学療法研究法演習 卒業研究 理学療法管理学※ 理学療法評価学Ⅱ※ 理学療法評価学演習※ 義肢装具学演習※ 神経障害理学療法学※ 神経障害理学療法学演習※ 神経障害理学療法学特論※ 予防理学療法学※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			機能解剖学※ チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 理学療法研究法演習 卒業研究 理学療法管理学※ 理学療法評価学Ⅱ※ 理学療法評価学演習※ 義肢装具学演習※ 神経障害理学療法学※ 神経障害理学療法学演習※ 神経障害理学療法学特論※ 予防理学療法学※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習
専	准教授	橋本 泰士 <令和3年4月> 博士(理学療法学)	専	准教授	橋本 泰士 <令和3年4月> 博士(理学療法学)
		生理学実習※ 人間発達学※ 理学療法研究法演習 卒業研究 義肢装具学※ 義肢装具学演習※ 発達障害理学療法学※ 発達障害理学療法学演習※ 日常生活動作分析援助学 日常生活動作分析援助学演習 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			生理学実習※ 人間発達学※ 理学療法研究法演習 卒業研究 義肢装具学※ 義肢装具学演習※ 発達障害理学療法学※ 発達障害理学療法学演習※ 日常生活動作分析援助学 日常生活動作分析援助学演習 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	中野凌 達哉 <令和4年4月> 博士(障害科学)	専	講師	中野凌 達哉 <令和4年4月> 博士(障害科学)
		運動学※ 運動学演習※ 理学療法研究法演習 生体運動計測学※ 卒業研究 運動療法学演習 運動器障害理学療法学※ 運動器障害理学療法学演習※ 運動器障害理学療法学特論※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			運動学※ 運動学演習※ 理学療法研究法演習 生体運動計測学※ 卒業研究 運動療法学演習 運動器障害理学療法学※ 運動器障害理学療法学演習※ 運動器障害理学療法学特論※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習
専	講師	中野凌 達哉 <令和3年4月> 博士(障害科学)	専	講師	中野凌 達哉 <令和3年4月> 博士(障害科学)
		運動学※			運動学※
専	講師	遠藤 康裕 <令和4年4月> 博士(保健学)	専	講師	遠藤 康裕 <令和4年4月> 博士(保健学)
		運動学※ 運動学演習※ 理学療法研究法演習 生体運動計測学※ 国際理学療法論※ 卒業研究 運動器障害理学療法学※ 運動器障害理学療法学演習※ 運動器障害理学療法学特論※ 予防理学療法学※ スポーツ理学療法学※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			運動学※ 運動学演習※ 理学療法研究法演習 生体運動計測学※ 国際理学療法論※ 卒業研究 運動器障害理学療法学※ 運動器障害理学療法学演習※ 運動器障害理学療法学特論※ 予防理学療法学※ スポーツ理学療法学※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習
兼任	講師	遠藤 康裕 <令和3年4月> 博士(保健学)	兼任	講師	遠藤 康裕 <令和3年4月> 博士(保健学)
		運動学※			運動学※
専	助教	星 真行 <令和3年4月> 博士(医学)	専	助教	星 真行 <令和3年4月> 博士(医学)
		チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 理学療法研究法演習 卒業研究 理学療法管理学※ 理学療法評価学Ⅰ※ 理学療法評価学演習※ 老年期理学療法学演習※ 予防理学療法学演習※ 地域理学療法学演習※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 理学療法研究法演習 卒業研究 理学療法管理学※ 理学療法評価学Ⅰ※ 理学療法評価学演習※ 老年期理学療法学演習※ 予防理学療法学演習※ 地域理学療法学演習※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習
専	助教	岡崎 可奈子 <令和3年4月> 修士(保健学)	専	助教	岡崎 可奈子 <令和3年4月> 修士(保健学)
		福島県の医療環境※ 生体実習※ 臨床技術基礎演習※ 老年期理学療法学演習※ 予防理学療法学※ 予防理学療法学演習※ 地域理学療法学演習※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			福島県の医療環境※ 生体実習※ 臨床技術基礎演習※ 老年期理学療法学演習※ 予防理学療法学※ 予防理学療法学演習※ 地域理学療法学演習※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	高橋 恵里 <令和5年4月> 修士(リハビリテーション)	専	助教	高橋 恵里 <令和5年4月> 修士(リハビリテーション)
		理学療法研究法演習 国際理学療法論※ 卒業研究 理学療法評価学Ⅰ※ 理学療法評価学演習※ 発達障害理学療法学※ 発達障害理学療法学演習 日常生活動作分析援助学演習 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			理学療法研究法演習 国際理学療法論※ 卒業研究 理学療法評価学Ⅰ※ 理学療法評価学演習※ 発達障害理学療法学※ 発達障害理学療法学演習 日常生活動作分析援助学演習 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習
専	助教	小俣 純一 <令和3年4月> 修士(保健学)	専	助教	小俣 純一 <令和3年4月> 修士(保健学)
		機能解剖学※ 解剖学実習※ 生理学実習※ 臨床技術基礎演習※ 理学療法研究法演習 卒業研究 運動器障害理学療法学※ 運動器障害理学療法学演習※ 運動器障害理学療法学特論※ 痛みに対する理学療法学※ 痛みに対する理学療法学演習※ 予防理学療法学※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			機能解剖学※ 解剖学実習※ 生理学実習※ 臨床技術基礎演習※ 理学療法研究法演習 卒業研究 運動器障害理学療法学※ 運動器障害理学療法学演習※ 運動器障害理学療法学特論※ 痛みに対する理学療法学※ 痛みに対する理学療法学演習※ 予防理学療法学※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習
専	助教	佐藤 聡見 <令和5年4月> 修士(障害科学)	専	助教	佐藤 聡見 <令和5年4月> 修士(障害科学)
		福島県の医療環境※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 理学療法評価学演習※ 内部障害理学療法学※ 内部障害理学療法学演習※ 内部障害理学療法学特論※ 予防理学療法学※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習			福島県の医療環境※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 理学療法評価学演習※ 内部障害理学療法学※ 内部障害理学療法学演習※ 内部障害理学療法学特論※ 予防理学療法学※ 基本的臨床技能演習 応用的臨床技能演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 地域理学療法学実習
兼任	教授	八木沼 洋行 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	八木沼 洋行 <令和3年4月> 博士(医学)
		解剖学概論※ 解剖学実習※ 生理学Ⅰ※			解剖学概論※ 解剖学実習※ 生理学Ⅰ※
兼任	教授	和栗 聡 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	和栗 聡 <令和3年4月> 博士(医学)
		解剖学概論※ 解剖学実習※			解剖学概論※ 解剖学実習※
兼任	教授	永福 智志 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	永福 智志 <令和3年4月> 博士(医学)
		生理学Ⅰ※			生理学Ⅰ※
兼任	教授	安村 誠司 <令和3年4月> 医学博士	兼任	教授	安村 誠司 <令和3年4月> 医学博士
		疫学・公衆衛生学※			疫学・公衆衛生学※
兼任	教授	大平 哲也 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	大平 哲也 <令和3年4月> 博士(医学)
		福島県の医療環境※ 疫学・公衆衛生学※			福島県の医療環境※ 疫学・公衆衛生学※
兼任	教授	石川 徹夫 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	石川 徹夫 <令和3年4月> 博士(医学)
		環境と放射線※			環境と放射線※

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	風間 順一郎 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	風間 順一郎 <令和3年4月> 博士(医学)
		解剖学概論※ 機能解剖学※ 内科学※			解剖学概論※ 機能解剖学※ 内科学※
兼任	教授	島袋 充生 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	島袋 充生 <令和4年4月> 博士(医学)
		内科学※			内科学※
兼任	教授	金井 数明 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	金井 数明 <令和4年4月> 博士(医学)
		脳・神経内科学※			脳・神経内科学※
兼任	教授	藤原 一男 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	藤原 一男 <令和4年4月> 博士(医学)
		脳・神経内科学※			脳・神経内科学※
兼任	教授	柴田 陽光 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	柴田 陽光 <令和4年4月> 博士(医学)
		内科学※			内科学※
兼任	教授	河野 浩二 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	教授	河野 浩二 <令和5年4月> 博士(医学)
		がんリハビリテーション学※			がんリハビリテーション学※
兼任	教授	丸橋 繁 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	丸橋 繁 <令和3年4月> 博士(医学)
		解剖学概論※			解剖学概論※
兼任	教授	鈴木 弘行 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	鈴木 弘行 <令和3年4月> 博士(医学)
		解剖学概論※			解剖学概論※
兼任	教授	大竹 徹 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	教授	大竹 徹 <令和5年4月> 博士(医学)
		がんリハビリテーション学※			がんリハビリテーション学※
兼任	教授	沼崎 広法 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	沼崎 広法 <令和4年4月> 博士(医学)
		整形外科学※			整形外科学※
兼任	教授	山田 仁 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	山田 仁 <令和3年4月> 博士(医学)
		解剖学概論※ 整形外科学※			解剖学概論※ 整形外科学※
兼任	教授	細矢 光亮 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	細矢 光亮 <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学※			小児科学※
兼任	教授	伊藤 浩 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	教授	伊藤 浩 <令和5年4月> 博士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	教授	葛西 龍樹 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	葛西 龍樹 <令和3年4月> 博士(医学)
		福島県の医療環境※ リハビリテーション医学※			福島県の医療環境※ リハビリテーション医学※

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	前田 正治 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	前田 正治 <令和4年4月> 博士(医学)
		危機管理学※			危機管理学※
兼任	教授	佐治 重衡 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	教授	佐治 重衡 <令和5年4月> 博士(医学)
		がんリハビリテーション学※			がんリハビリテーション学※
兼任	教授	長谷川 有史 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	長谷川 有史 <令和3年4月> 博士(医学)
		危機管理学※ 福島県の医療環境※			危機管理学※ 福島県の医療環境※
兼任	教授	大井 直往 <令和4年4月> 医学博士	兼任	教授	大井 直往 <令和4年4月> 医学博士
		リハビリテーション医学※ 災害リハビリテーション論※			リハビリテーション医学※ 災害リハビリテーション論※
兼任	教授	島田 二郎 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	教授	島田 二郎 <令和5年4月> 博士(医学)
		災害リハビリテーション論※			災害リハビリテーション論※
兼任	教授	高橋 香子 <令和3年4月> 修士(障害科学)	兼任	教授	高橋 香子 <令和3年4月> 修士(障害科学)
		チーム医療Ⅰ(概論)※			チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任	教授	坂本 祐子 <令和3年4月> 博士(障害科学)	兼任	教授	坂本 祐子 <令和3年4月> 博士(障害科学)
		リハビリテーション概論※			リハビリテーション概論※
兼任	教授	和田 久美子 <令和6年4月> 博士(児童学)	兼任	教授	和田 久美子 <令和6年4月> 博士(児童学)
		チーム医療Ⅱ(演習)※			チーム医療Ⅱ(演習)※
兼任	教授	太田 昌一郎 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	太田 昌一郎 <令和3年4月> 博士(医学)
		解剖学概論※			解剖学概論※
兼任	教授	大谷 晃司 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	大谷 晃司 <令和3年4月> 博士(医学)
		解剖学概論※ チーム医療Ⅱ(演習)※			解剖学概論※ チーム医療Ⅱ(演習)※
兼任	教授	亀岡 弥生 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	亀岡 弥生 <令和3年4月> 博士(医学)
		修学基礎セミナー※ チーム医療Ⅱ(演習)※			修学基礎セミナー※ チーム医療Ⅱ(演習)※
兼任	教授	三澤 文紀 <令和3年4月> 博士(教育学)	兼任	教授	三澤 文紀 <令和3年4月> 博士(教育学)
		心理学※ 臨床心理学※			心理学※ 臨床心理学※
兼任	教授	安田 尚子 <令和3年4月> Ph. D. in Linguistics(米国)	兼任	教授	安田 尚子 <令和3年4月> Ph. D. in Linguistics(米国)
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語Ⅲ 言語と社会			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語Ⅲ 言語と社会

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	佐々木 道子 <令和3年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	佐々木 道子 <令和3年4月> 博士(薬学)
		化学 I 化学 II 自然科学実験※			化学 I 化学 II 自然科学実験※
兼任	教授	本多 創史 <令和3年4月> 博士(学術)	兼任	教授	本多 創史 <令和3年4月> 博士(学術)
		修学基礎セミナー※ 倫理学 生命倫理学 チーム医療 I (概論)※ 歴史と社会			修学基礎セミナー※ 倫理学 生命倫理学 チーム医療 I (概論)※ 歴史と社会
兼任	教授	下村 健寿 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	下村 健寿 <令和4年4月> 博士(医学)
		薬理学※			薬理学※
兼任	教授	五百川 和明 <令和3年4月> 博士(障害科学)	兼任	教授	五百川 和明 <令和3年4月> 博士(障害科学)
		修学基礎セミナー※ リハビリテーション概論※ チーム医療 I (概論)※ チーム医療 II (演習)※			修学基礎セミナー※ リハビリテーション概論※ チーム医療 I (概論)※ チーム医療 II (演習)※
兼任	教授	林 博史 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	林 博史 <令和3年4月> 博士(医学)
		修学基礎セミナー※ 生理学実習※ 臨床心理学※ リハビリテーション医学※ 精神医学 脳・神経内科学※ 老年学※ 小児科学※ 臨床技術基礎演習※ リハビリテーション概論※ チーム医療 II (演習)※			修学基礎セミナー※ 生理学実習※ 臨床心理学※ リハビリテーション医学※ 精神医学 脳・神経内科学※ 老年学※ 小児科学※ 臨床技術基礎演習※ リハビリテーション概論※ チーム医療 II (演習)※
兼任	教授	倉澤 茂樹 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	倉澤 茂樹 <令和3年4月> 博士(医学)
		人間発達学※ リハビリテーション概論※ チーム医療 II (演習)※			人間発達学※ リハビリテーション概論※ チーム医療 II (演習)※
兼任	教授	曾根 稔雅 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	曾根 稔雅 <令和3年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション概論※			リハビリテーション概論※
兼任	教授	久保 均 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	教授	久保 均 <令和3年4月> 博士(工学)
		修学基礎セミナー※ 医用工学実験※ 臨床技術基礎演習※ 放射線医学概論※			修学基礎セミナー※ 医用工学実験※ 臨床技術基礎演習※ 放射線医学概論※
兼任	教授	高橋 規之 <令和3年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	高橋 規之 <令和3年4月> 博士(保健学)
		チーム医療 I (概論)※ チーム医療 II (演習)※ 臨床技術基礎演習※			チーム医療 I (概論)※ チーム医療 II (演習)※ 臨床技術基礎演習※
兼任	教授	加藤 貴弘 <令和3年4月> 博士(医療技術学)	兼任	教授	加藤 貴弘 <令和3年4月> 博士(医療技術学)
		チーム医療 I (概論)※ 臨床技術基礎演習※ 放射線医学概論※			チーム医療 I (概論)※ 臨床技術基礎演習※ 放射線医学概論※
兼任	教授	三輪 建太 <令和4年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	三輪 建太 <令和4年4月> 博士(保健学)
		放射線医学概論※			放射線医学概論※

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	小川 一英 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	小川 一英 <令和3年4月> 博士(医学)
		修学基礎セミナー※ 生理学Ⅰ※ 医学概論※ 危機管理学※ チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 内科学※			修学基礎セミナー※ 生理学Ⅰ※ 医学概論※ 危機管理学※ チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 内科学※
兼任	教授	宇月(木原) 美和 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	宇月(木原) 美和 <令和3年4月> 博士(医学)
		生理学Ⅰ※ 病理学総論			生理学Ⅰ※ 病理学総論
兼任	教授	豊川 真弘 <令和3年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	豊川 真弘 <令和3年4月> 博士(保健学)
		修学基礎セミナー※ 微生物学総論※ 臨床技術基礎演習※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 内科学※			修学基礎セミナー※ 微生物学総論※ 臨床技術基礎演習※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 内科学※
兼任	教授	北爪(川口) しのぶ <令和3年4月> 博士(理学)	兼任	教授	北爪(川口) しのぶ <令和3年4月> 博士(理学)
		修学基礎セミナー※ 基礎生化学※ 研究方法論※			修学基礎セミナー※ 基礎生化学※ 研究方法論※
兼任	教授	義久 精臣 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	義久 精臣 <令和3年4月> 博士(医学)
		解剖学概論※ 生理学Ⅰ※ 生理学家習※ 臨床技術基礎演習※ チーム医療Ⅰ(概論)※ 研究方法論※ リハビリテーション医学※ 内科学※ 老年学※			解剖学概論※ 生理学Ⅰ※ 生理学家習※ 臨床技術基礎演習※ チーム医療Ⅰ(概論)※ 研究方法論※ リハビリテーション医学※ 内科学※ 老年学※
兼任	准教授	各務 竹康 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	各務 竹康 <令和3年4月> 博士(医学)
		疫学・公衆衛生学※			疫学・公衆衛生学※
兼任	准教授	岩佐 一 <令和3年4月> 博士(心理学)	兼任	准教授	岩佐 一 <令和3年4月> 博士(心理学)
		疫学・公衆衛生学※ 老年学※			疫学・公衆衛生学※ 老年学※
兼任	准教授	坪井 聡 <令和3年4月> 博士(医学)			
		疫学・公衆衛生学※			
兼任	准教授	高木 忠之 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	高木 忠之 <令和4年4月> 博士(医学)
		内科学※			内科学※
兼任	准教授	藤井 正純 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	藤井 正純 <令和5年4月> 博士(医学)
		がんリハビリテーション学※			がんリハビリテーション学※
兼任	准教授	二階堂 琢也 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	二階堂 琢也 <令和3年4月> 博士(医学)
		解剖学概論※ 整形外科学※			解剖学概論※ 整形外科学※
兼任	准教授	箱崎 道之 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	箱崎 道之 <令和4年4月> 博士(医学)
		整形外科学※			整形外科学※

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	渡邊 和之 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	渡邊 和之 <令和4年4月> 博士(医学)
		整形外科学※			整形外科学※
兼任	准教授	大内 一夫 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	大内 一夫 <令和3年4月> 博士(医学)
		整形外科学※ チーム医療Ⅰ(概論)※			整形外科学※ チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任	准教授	橋本 浩一 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	橋本 浩一 <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学※			小児科学※
兼任	准教授	三浦 至 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	三浦 至 <令和5年4月> 博士(医学)
		がんリハビリテーション学※			がんリハビリテーション学※
兼任	准教授	石井 士朗 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	石井 士朗 <令和5年4月> 博士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	准教授	福田 俊章 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	准教授	福田 俊章 <令和6年4月> 修士(文学)
		哲学			哲学
兼任	准教授	安達 隆 <令和3年4月> 博士(情報科学)	兼任	准教授	安達 隆 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		数学Ⅰ 数学Ⅱ 応用数学※ 情報処理※			数学Ⅰ 数学Ⅱ 応用数学※ 情報処理※
兼任	准教授	菅野 久美 <令和6年4月> 博士(看護学)	兼任	准教授	菅野 久美 <令和6年4月> 博士(看護学)
		チーム医療Ⅱ(演習)※			チーム医療Ⅱ(演習)※
兼任	准教授	大川 貴子 <令和6年4月> 修士(看護学)	兼任	准教授	大川 貴子 <令和6年4月> 修士(看護学)
		チーム医療Ⅱ(演習)※			チーム医療Ⅱ(演習)※
兼任	准教授	立柳 聡 <令和4年4月> 博士(社会学)	兼任	准教授	立柳 聡 <令和4年4月> 博士(社会学)
		人間関係論			人間関係論
兼任	准教授	柴田 恭子 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	柴田 恭子 <令和3年4月> 博士(医学)
		数学Ⅰ 数学Ⅱ 応用数学※ 統計学 情報処理※ 医療統計学 医療統計学演習			数学Ⅰ 数学Ⅱ 応用数学※ 統計学 情報処理※ 医療統計学 医療統計学演習
兼任	准教授	有吉 健太郎 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	有吉 健太郎 <令和3年4月> 博士(医学)
		生物学Ⅰ 生物学Ⅱ 自然科学実験※			生物学Ⅰ 生物学Ⅱ 自然科学実験※
兼任	准教授	反町 篤行 <令和3年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	反町 篤行 <令和3年4月> 博士(学術)
		物理学Ⅰ※ 物理学Ⅱ※ 自然科学実験※ 環境と放射線※			物理学Ⅰ※ 物理学Ⅱ※ 自然科学実験※ 環境と放射線※

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	澁川 幸志 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	澁川 幸志 <令和3年4月> 博士(医学)
		福島県の医療環境※ 生理学実習※			福島県の医療環境※ 生理学実習※
兼任	准教授	藤田 貴昭 <令和3年4月> 博士(保健学)	兼任	准教授	藤田 貴昭 <令和3年4月> 博士(保健学)
		チーム医療Ⅰ(概論)※			チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任	准教授	佐藤 久志 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	佐藤 久志 <令和3年4月> 博士(医学)
		福島県の医療環境※ チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 臨床技術基礎演習※ 画像医学※ 放射線医学概論※			福島県の医療環境※ チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 臨床技術基礎演習※ 画像医学※ 放射線医学概論※
兼任	准教授	五月女 康作 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	五月女 康作 <令和3年4月> 博士(医学)
		物理学Ⅰ※ 自然科学実験※			物理学Ⅰ※ 自然科学実験※
兼任	准教授	福田 篤志 <令和3年4月> 博士(保健学)	兼任	准教授	福田 篤志 <令和3年4月> 博士(保健学)
		環境と放射線※ チーム医療Ⅰ(概論)※ 研究方法論※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 臨床技術基礎演習※ 放射線医学概論※			環境と放射線※ チーム医療Ⅰ(概論)※ 研究方法論※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 臨床技術基礎演習※ 放射線医学概論※
兼任	准教授	鈴木 英明 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	鈴木 英明 <令和3年4月> 博士(医学)
		生理学実習※ 免疫学 チーム医療Ⅱ(演習)※			生理学実習※ 免疫学 チーム医療Ⅱ(演習)※
兼任	准教授	菅野 光俊 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	菅野 光俊 <令和3年4月> 博士(医学)
		チーム医療Ⅰ(概論)※			チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任	講師	森山 信彰 <令和3年4月> 博士(保健学)	兼任	講師	森山 信彰 <令和3年4月> 博士(保健学)
		疫学・公衆衛生学※			疫学・公衆衛生学※
兼任	講師	江口(大平) 依里 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	講師	江口(大平) 依里 <令和3年4月> 博士(医学)
		疫学・公衆衛生学※			疫学・公衆衛生学※
兼任	講師	待井 典剛 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	待井 典剛 <令和4年4月> 博士(医学)
		内科学※			内科学※
兼任	講師	松田 希 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	松田 希 <令和4年4月> 博士(医学)
		脳・神経内科学※			脳・神経内科学※
兼任	講師	佐藤 拓 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	佐藤 拓 <令和4年4月> 博士(医学)
		脳・神経内科学※			脳・神経内科学※
兼任	講師	岩橋 兼尚 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	岩橋 兼尚 <令和4年4月> 博士(医学)
		脳・神経内科学※			脳・神経内科学※

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	川上 亮一 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	川上 亮一 <令和4年4月> 博士(医学)
		整形外科学※			整形外科学※
兼任	講師	小林 洋 (令和4年4月) 博士(医学)	兼任	講師	小林 洋 (令和4年4月) 博士(医学)
		整形外科学※			整形外科学※
兼任	講師	佐藤 昌論 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	佐藤 昌論 <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学※			小児科学※
兼任	講師	陶山 和秀 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	陶山 和秀 <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学※			小児科学※
兼任	講師	佐藤 薫 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	佐藤 薫 <令和5年4月> 博士(医学)
		がんリハビリテーション学※			がんリハビリテーション学※
兼任	講師	望月 一弘 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	望月 一弘 <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学※			小児科学※
兼任	講師	片桐 和子 <令和5年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	片桐 和子 <令和5年4月> 修士(看護学)
		チーム医療Ⅱ(演習)※ 研究方法論※			チーム医療Ⅱ(演習)※ 研究方法論※
兼任	講師	古溝 陽子 <令和6年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	古溝 陽子 <令和6年4月> 修士(看護学)
		チーム医療Ⅱ(演習)※			チーム医療Ⅱ(演習)※
兼任	講師	末永 恵子 <令和4年4月> 博士(文学)	兼任	講師	末永 恵子 <令和4年4月> 博士(文学)
		死生観			死生観
兼任	講師	石川 陽子 <令和3年4月> 博士(保健学)	兼任	講師	石川 陽子 <令和3年4月> 博士(保健学)
		チーム医療Ⅰ(概論)※			チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任	講師	川又 寛徳 <令和4年4月> 博士(作業療法学)	兼任	講師	川又 寛徳 <令和4年4月> 博士(作業療法学)
		老年学※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 研究方法論			老年学※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 研究方法論
兼任	講師	大葉 隆 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	大葉 隆 <令和4年4月> 博士(医学)
		危機管理学※ 放射線医学概論※			危機管理学※ 放射線医学概論※
兼任	講師	高橋(高橋) 一人 <令和3年4月> 博士(水産科学)	兼任	講師	高橋(高橋) 一人 <令和3年4月> 博士(水産科学)
		臨床技術基礎演習※ チーム医療Ⅱ(演習)※			臨床技術基礎演習※ チーム医療Ⅱ(演習)※
兼任	助教	中山 千尋 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	助教	中山 千尋 <令和3年4月> 博士(医学)
		疫学・公衆衛生学※			疫学・公衆衛生学※

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	大森 康孝 <令和3年4月> 博士(理学)	兼任	助教	大森 康孝 <令和3年4月> 博士(理学)
		物理学Ⅱ※ 自然科学実験※			物理学Ⅱ※ 自然科学実験※
兼任	助教	竹林 由武 <令和3年4月> 博士(学術)	兼任	助教	竹林 由武 <令和3年4月> 博士(学術)
		コミュニケーション論※ 臨床心理学※			コミュニケーション論※ 臨床心理学※
兼任	助教	鬼澤 道夫 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	助教	鬼澤 道夫 <令和4年4月> 博士(医学)
		内科学※			内科学※
兼任	助教	浅野 智之 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	助教	浅野 智之 <令和4年4月> 博士(医学)
		内科学※			内科学※
兼任	助教	佐々木 信幸 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	助教	佐々木 信幸 <令和4年4月> 博士(医学)
		整形外科学※			整形外科学※
兼任	助教	吉田 勝浩 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	助教	吉田 勝浩 <令和4年4月> 博士(医学)
		整形外科学※			整形外科学※
兼任	助教	猪狩 貴弘 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	助教	猪狩 貴弘 <令和4年4月> 博士(医学)
		整形外科学※			整形外科学※
兼任	助教	渡部 真裕 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	助教	渡部 真裕 <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学※			小児科学※
兼任	助教	中野 裕子 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	助教	中野 裕子 <令和5年4月> 博士(医学)
		痛みに対する理学療法学演習※			痛みに対する理学療法学演習※
兼任	助教	井口 善生 <令和3年4月> 博士(心理学)	兼任	助教	井口 善生 <令和3年4月> 博士(心理学)
		心理学※			心理学※
兼任	助教	吾妻 陽子 <令和6年4月> 修士(看護)	兼任	助教	吾妻 陽子 <令和6年4月> 修士(看護)
		チーム医療Ⅱ(演習)※			チーム医療Ⅱ(演習)※
兼任	助教	青木 俊太郎 <令和3年4月> 博士(臨床心理学)	兼任	助教	青木 俊太郎 <令和3年4月> 博士(臨床心理学)
		コミュニケーション論※ チーム医療Ⅰ(概論)※			コミュニケーション論※ チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任	助教	尾形 浩 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	助教	尾形 浩 <令和4年4月> 博士(医学)
		薬理学※			薬理学※
兼任	助教	三橋 佑平 <令和3年4月> 修士(保健学)	兼任	助教	三橋 佑平 <令和3年4月> 修士(保健学)
		臨床技術基礎演習※			臨床技術基礎演習※

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任 助教	助教	田中 善信 <令和3年4月> 修士(保健医療科学)	兼任 助教	助教	田中 善信 <令和3年4月> 修士(保健医療科学)
		チーム医療Ⅰ(概論)※			チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任 助教	助教	木村 夏実 <令和3年4月> 修士(作業療法学)	兼任 助教	助教	木村 夏実 <令和3年4月> 修士(作業療法学)
		生理学実習※ 臨床技術基礎演習※ チーム医療Ⅰ(概論)※			生理学実習※ 臨床技術基礎演習※ チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任 助教	助教	田代 雅実 <令和3年4月> 修士(医科学)	兼任 助教	助教	田代 雅実 <令和3年4月> 修士(医科学)
		情報処理※ 臨床技術基礎演習※ 災害リハビリテーション論			情報処理※ 臨床技術基礎演習※ 災害リハビリテーション論
兼任 助教	助教	堀越 裕子 <令和3年4月> 修士(医科学)	兼任 助教	助教	堀越 裕子 <令和3年4月> 修士(医科学)
		生理学実習※ 臨床技術基礎演習※ チーム医療Ⅰ(概論)※			生理学実習※ 臨床技術基礎演習※ チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任 助教	助教	三浦 里織 <令和3年4月> 修士(医科学)	兼任 助教	助教	三浦 里織 <令和3年4月> 修士(医科学)
		福島県の医療環境※ 生理学実習※ 臨床技術基礎演習※ チーム医療Ⅰ(概論)※			福島県の医療環境※ 生理学実習※ 臨床技術基礎演習※ チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任 講師	講師	開沼 博 <令和3年4月> 修士(学際情報学)	兼任 講師	講師	開沼 博 <令和3年4月> 修士(学際情報学)
		福島県を知る※			福島県を知る※
兼任 講師	講師	阿部 綾子 <令和3年4月> 修士(文学)	兼任 講師	講師	阿部 綾子 <令和3年4月> 修士(文学)
		福島県を知る※			福島県を知る※
兼任 講師	講師	内山 大介 <令和3年4月> 修士(地域研究)	兼任 講師	講師	内山 大介 <令和3年4月> 修士(地域研究)
		福島県を知る※			福島県を知る※
兼任 講師	講師	高橋 充 <令和3年4月> 修士(文学)	兼任 講師	講師	高橋 充 <令和3年4月> 修士(文学)
		福島県を知る※			福島県を知る※
兼任 講師	講師	堀 宣雄 <令和3年4月> 美術史学修士	兼任 講師	講師	堀 宣雄 <令和3年4月> 美術史学修士
		福島県を知る※			福島県を知る※
兼任 講師	講師	増淵 鏡子 <令和3年4月> 学士(芸術学)	兼任 講師	講師	増淵 鏡子 <令和3年4月> 学士(芸術学)
		福島県を知る※			福島県を知る※
兼任 講師	講師	橋本 恵里 <令和3年4月> 修士(美術史学)	兼任 講師	講師	橋本 恵里 <令和3年4月> 修士(美術史学)
		福島県を知る※			福島県を知る※
兼任 講師	講師	平出 美穂子 <令和3年4月> 短期大学卒	兼任 講師	講師	平出 美穂子 <令和3年4月> 短期大学卒
		福島県を知る※			福島県を知る※
兼任 講師	講師	鈴木 賢二 <令和3年4月> 学士(農学)	兼任 講師	講師	鈴木 賢二 <令和3年4月> 学士(農学)
		福島県を知る※			福島県を知る※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤岡 理恵子 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		心理学※
兼任	講師	吉高神 明 ＜令和5年4月＞ 修士(国際政治学)
		国際関係論
兼任	講師	前川 直哉 ＜令和5年4月＞ 博士(人間環境学)
		ジェンダー・セクシュアリティ論
兼任	講師	塚田 祥文 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		環境と放射線※
兼任	講師	和田 敏裕 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		環境と放射線※
兼任	講師	脇山 義史 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境と放射線※
兼任	講師	澤 正宏 ＜令和3年4月＞ 文学博士
		文学
兼任	講師	九頭見 和夫 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		ドイツ語
兼任	講師	池澤 貴芳 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		中国語
兼任	講師	佐竹 秀一 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		福島県の医療環境※
兼任	講師	小野田 修一 ＜令和3年4月＞ 学士(教養)
		福島県の医療環境※ 災害リハビリテーション論※
兼任	講師	柴田 邦昭 ＜令和4年4月＞ 社会福祉学修士
		社会福祉学
兼任	講師	三瓶 千香子 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		人間と教育
兼任	講師	元井 貴子 ＜令和6年4月＞ 法務(博士)
		日本国憲法

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤岡 理恵子 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		心理学※
兼任	講師	吉高神 明 ＜令和5年4月＞ 修士(国際政治学)
		国際関係論
兼任	講師	前川 直哉 ＜令和5年4月＞ 博士(人間環境学)
		ジェンダー・セクシュアリティ論
兼任	講師	塚田 祥文 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		環境と放射線※
兼任	講師	和田 敏裕 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		環境と放射線※
兼任	講師	脇山 義史 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境と放射線※
兼任	講師	澤 正宏 ＜令和3年4月＞ 文学博士
		文学
兼任	講師	九頭見 和夫 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		ドイツ語
兼任	講師	池澤 貴芳 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		中国語
兼任	講師	佐竹 秀一 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		福島県の医療環境※
兼任	講師	小野田 修一 ＜令和3年4月＞ 学士(教養)
		福島県の医療環境※ 災害リハビリテーション論※
兼任	講師	柴田 邦昭 ＜令和4年4月＞ 社会福祉学修士
		社会福祉学
兼任	講師	三瓶 千香子 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		人間と教育
兼任	講師	元井 貴子 ＜令和6年4月＞ 法務(博士)
		日本国憲法

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 晃 <令和3年4月> 教育学士	兼任	講師	佐々木 晃 <令和3年4月> 教育学士
		ライフデザイン			ライフデザイン
兼任	講師	Régis de Lavison <令和3年4月> Bachelor of Commerce(加国)	兼任	講師	Régis de Lavison <令和3年4月> Bachelor of Commerce(加国)
		フランス語			フランス語
兼任	講師	吉田 美香子 <令和4年4月> 博士(保健学)	兼任	講師	吉田 美香子 <令和4年4月> 博士(保健学)
		リハビリテーション医学※			リハビリテーション医学※
兼任	講師	山口 芳樹 <令和3年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	山口 芳樹 <令和3年4月> 博士(薬学)
		基礎生化学※			基礎生化学※
兼任	講師	見田 洋子 <令和3年4月> 高等学校卒	兼任	講師	見田 洋子 <令和3年4月> 高等学校卒
		臨床技術基礎演習※			臨床技術基礎演習※
兼任	講師	三村 邦裕 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	三村 邦裕 <令和4年4月> 博士(医学)
		危機管理学※			危機管理学※
兼任	講師	木村 栄宏 <令和4年4月> 修士(国際情報)	兼任	講師	木村 栄宏 <令和4年4月> 修士(国際情報)
		危機管理学※			危機管理学※
兼任	講師	藤本 一雄 <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	講師	藤本 一雄 <令和4年4月> 博士(工学)
		危機管理学※			危機管理学※
兼任	講師	種田 憲一郎 <令和4年4月> M.P.H(Master of Public Health)(米国)	兼任	講師	種田 憲一郎 <令和4年4月> M.P.H(Master of Public Health)(米国)
		危機管理学※ チーム医療Ⅱ(演習)※			危機管理学※ チーム医療Ⅱ(演習)※
兼任	講師	佐藤 千歳 <令和4年4月> 博士(保健学)	兼任	講師	佐藤 千歳 <令和4年4月> 博士(保健学)
		危機管理学※			危機管理学※
兼任	講師	阿部 真典 <令和3年4月> 博士(保健学)	兼任	講師	阿部 真典 <令和3年4月> 博士(保健学)
		チーム医療Ⅰ(概論)※ 義肢装具学※ 義肢装具学演習※			チーム医療Ⅰ(概論)※ 義肢装具学※ 義肢装具学演習※
兼任	講師	鈴木 優 <令和3年4月> 専門学校卒	兼任	講師	鈴木 優 <令和3年4月> 専門学校卒
		チーム医療Ⅰ(概論)※			チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任	講師	松尾 洋平 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	松尾 洋平 <令和4年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション医学※ 整形外科※ 小児科学※ スポーツ理学療法学※			リハビリテーション医学※ 整形外科※ 小児科学※ スポーツ理学療法学※
兼任	講師	安永 好宏 <令和4年4月> 修士(学術)	兼任	講師	安永 好宏 <令和4年4月> 修士(学術)
		リハビリテーション医学※ 理学療法発展領域論※			リハビリテーション医学※ 理学療法発展領域論※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 弘一郎 <令和4年4月> 博士(医学)
		整形外科学※
兼任	講師	田村 佳奈美 <令和4年4月> 短期大学卒
		リハビリテーション栄養学
兼任	講師	山本 優一 <令和5年4月> 専門学校卒
		がんリハビリテーション学※ がん理学療法学演習※
兼任	講師	島野 光正 <令和5年4月> 学士(社会学)
		災害リハビリテーション論※
兼任	講師	椎野 良隆 <令和5年4月> 博士(歯学)
		災害リハビリテーション論※
兼任	講師	星 真琴 <令和5年4月> 学士(保健科学)
		災害リハビリテーション論※
兼任	講師	西山 慶治 <令和3年4月> 博士(医学)
		解剖学概論※
兼任	講師	清水 ミシェル アイズマン <令和5年4月> 博士(医学)
		国際理学療法論※
兼任	講師	齋藤 崇志 <令和5年4月> 博士(老年学)
		国際理学療法論※
兼任	講師	須賀 康平 <令和5年4月> 修士(理学療法学)
		国際理学療法論※
兼任	講師	松原 貴子 <令和5年4月> 博士(保健学)
		痛みに対する理学療法学※ 痛みに対する理学療法学演習※
兼任	講師	風岡 都 <令和5年4月> 専門学校卒
		理学療法管理学※
兼任	講師	服部 和彦 <令和5年4月> 学士(経営学)
		スポーツ理学療法学※
兼任	講師	山本 綾子 <令和5年4月> 博士(保健学)
		予防理学療法学※

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 弘一郎 <令和4年4月> 博士(医学)
		整形外科学※
兼任	講師	田村 佳奈美 <令和4年4月> 短期大学卒
		リハビリテーション栄養学
兼任	講師	山本 優一 <令和5年4月> 専門学校卒
		がんリハビリテーション学※ がん理学療法学演習※
兼任	講師	島野 光正 <令和5年4月> 学士(社会学)
		災害リハビリテーション論※
兼任	講師	椎野 良隆 <令和5年4月> 博士(歯学)
		災害リハビリテーション論※
兼任	講師	星 真琴 <令和5年4月> 学士(保健科学)
		災害リハビリテーション論※
兼任	講師	西山 慶治 <令和3年4月> 博士(医学)
		解剖学概論※
兼任	講師	清水 ミシェル アイズマン <令和5年4月> 博士(医学)
		国際理学療法論※
兼任	講師	齋藤 崇志 <令和5年4月> 博士(老年学)
		国際理学療法論※
兼任	講師	須賀 康平 <令和5年4月> 修士(理学療法学)
		国際理学療法論※
兼任	講師	松原 貴子 <令和5年4月> 博士(保健学)
		痛みに対する理学療法学※ 痛みに対する理学療法学演習※
兼任	講師	風岡 都 <令和5年4月> 専門学校卒
		理学療法管理学※
兼任	講師	服部 和彦 <令和5年4月> 学士(経営学)
		スポーツ理学療法学※
兼任	講師	山本 綾子 <令和5年4月> 博士(保健学)
		予防理学療法学※

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 友則 <令和6年4月> 博士(障害科学)	兼任	講師	佐藤 友則 <令和6年4月> 博士(障害科学)
		理学療法発展領域論※			理学療法発展領域論※
兼任	講師	仙波 浩幸 <令和6年4月> 博士(医学)	兼任	講師	仙波 浩幸 <令和6年4月> 博士(医学)
		理学療法発展領域論※			理学療法発展領域論※
兼任	講師	野口 裕美 <令和6年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)	兼任	講師	野口 裕美 <令和6年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)
		理学療法発展領域論※			理学療法発展領域論※
兼任	講師	竹田 智之 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	竹田 智之 <令和6年4月> 修士(教育学)
		理学療法発展領域論※			理学療法発展領域論※
兼任	講師	鈴木 一恵 <令和6年4月> 専門学校卒	兼任	講師	鈴木 一恵 <令和6年4月> 専門学校卒
		理学療法発展領域論※			理学療法発展領域論※
兼任	講師	坂本 美喜 <令和6年4月> 博士(医学)	兼任	講師	坂本 美喜 <令和6年4月> 博士(医学)
		理学療法発展領域論※			理学療法発展領域論※
兼任	講師	斉藤 秀之 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	斉藤 秀之 <令和4年4月> 博士(医学)
		地域理学療法学※			地域理学療法学※
兼任	講師	桂 理江子 <令和4年4月> 修士(健康福祉)	兼任	講師	桂 理江子 <令和4年4月> 修士(健康福祉)
		地域理学療法学※			地域理学療法学※
兼任	講師	森谷 浩史 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	森谷 浩史 <令和5年4月> 博士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	講師	金井 典子 <令和3年4月> MA in Medieval English Literatures(英国)	兼任	講師	金井 典子 <令和3年4月> MA in Medieval English Literatures(英国)
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	高田 兵衛 <令和3年4月> 博士(水産科学)	兼任	講師	高田 兵衛 <令和3年4月> 博士(水産科学)
		環境と放射線※			環境と放射線※
兼任	講師	矢口 春木 <令和6年4月> 博士(障害科学)	兼任	講師	矢口 春木 <令和6年4月> 博士(障害科学)
		運動器障害理学療法学特論※			運動器障害理学療法学特論※
兼任	講師	田上 未来 <令和6年4月> 博士(保健医療科学)	兼任	講師	田上 未来 <令和6年4月> 博士(保健医療科学)
		理学療法発展領域論※			理学療法発展領域論※
兼任	講師	SILVA Cecilia NOEMI <令和3年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	SILVA Cecilia NOEMI <令和3年4月> 博士(人間科学)
		スペイン語			スペイン語

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	小林 智之 <令和3年4月> 博士(心理学)	心理学※
兼任	講師	田中 恵子 <令和4年4月> 博士(医学)	脳・神経内科学※
兼任	講師	伊藤 英一 <令和4年4月> 学士(医学)	脳・神経内科学※
兼任	講師	佐藤 房郎 <令和5年4月> 専門学校卒	義肢装具学演習※
兼任	講師	久保田 恵佑 <令和3年4月> 修士(地域文化)	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語Ⅲ
兼任	講師	竹中 信之 <令和4年4月> 博士(医学)	整形外科学※
兼任	講師	加賀 孝弘 <令和4年4月> 学士(医学)	整形外科学※
兼任	講師	小野 洋子 <令和5年4月> 専門学校卒	発達障害心理学療法学※
兼任	講師	嶋原 智彦 <令和5年4月> 学士(保健学)	スポーツ理学療法学※
兼任	講師	野村 潤 <令和5年4月> 学士(理学療法学)	スポーツ理学療法学※
兼任	講師	菅野 和広 <令和3年4月> 学士(言語聴覚障害学)	チーム医療Ⅰ(概論)※ 老年学※ がんリハビリテーション学※
兼任	講師	二村 美也子 <令和5年4月> 学士(文学)	がんリハビリテーション学※
兼任	講師	高橋 勝 <令和5年4月> 学士(作業療法学)	がんリハビリテーション学※
兼任	講師	出羽 仁 <令和5年4月> 学士(教養)	内部障害理学療法学特論※

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	小林 智之 <令和3年4月> 博士(心理学)	心理学※
兼任	講師	田中 恵子 <令和4年4月> 博士(医学)	脳・神経内科学※
兼任	講師	伊藤 英一 <令和4年4月> 学士(医学)	脳・神経内科学※
兼任	講師	佐藤 房郎 <令和5年4月> 専門学校卒	義肢装具学演習※
兼任	講師	久保田 恵佑 <令和3年4月> 修士(地域文化)	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語Ⅲ
兼任	講師	竹中 信之 <令和4年4月> 博士(医学)	整形外科学※
兼任	講師	加賀 孝弘 <令和4年4月> 学士(医学)	整形外科学※
兼任	講師	小野 洋子 <令和5年4月> 専門学校卒	発達障害心理学療法学※
兼任	講師	嶋原 智彦 <令和5年4月> 学士(保健学)	スポーツ理学療法学※
兼任	講師	野村 潤 <令和5年4月> 学士(理学療法学)	スポーツ理学療法学※
兼任	講師	菅野 和広 <令和3年4月> 学士(言語聴覚障害学)	チーム医療Ⅰ(概論)※ 老年学※ がんリハビリテーション学※
兼任	講師	二村 美也子 <令和5年4月> 学士(文学)	がんリハビリテーション学※
兼任	講師	高橋 勝 <令和5年4月> 学士(作業療法学)	がんリハビリテーション学※
兼任	講師	出羽 仁 <令和5年4月> 学士(教養)	内部障害理学療法学特論※

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	福原 之博 <令和3年4月> 専門学校卒	兼任	講師	福原 之博 <令和3年4月> 専門学校卒
		チーム医療Ⅰ(概論)※			チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任	講師	小幡 英章 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	小幡 英章 <令和5年4月> 博士(医学)
		痛みに対する理学療法学※ 痛みに対する理学療法学演習※			痛みに対する理学療法学※ 痛みに対する理学療法学演習※
兼任	講師	桃井 伸緒 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	桃井 伸緒 <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学※			小児科学※
兼任	講師	佐藤 真紀 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	佐藤 真紀 <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学※			小児科学※
兼任	講師	郷 勇人 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	郷 勇人 <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学※			小児科学※
兼任	講師	石井 重亮 <令和3年4月> 修士(薬学)	兼任	講師	石井 重亮 <令和3年4月> 修士(薬学)
		チーム医療Ⅰ(概論)※ 老年学※			老年学※
兼任	講師	家村 俊一郎 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	講師	家村 俊一郎 <令和5年4月> 博士(理学)
		研究方法論※			研究方法論※
兼任	講師	歌野 健一 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	歌野 健一 <令和5年4月> 博士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	講師	門馬 成郎 <令和3年4月> 学士(法学)	兼任	講師	門馬 成郎 <令和3年4月> 学士(法学)
		チーム医療Ⅰ(概論)※			チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任	講師	齋藤 圭太 <令和4年4月> 学士(社会福祉学)	兼任	講師	齋藤 圭太 <令和4年4月> 学士(社会福祉学)
		老年学※			老年学※
兼任	講師	佐藤 亜希美 <令和3年4月> 学士(法学)	兼任	講師	佐藤 亜希美 <令和3年4月> 学士(法学)
		チーム医療Ⅰ(概論)※			チーム医療Ⅰ(概論)※
兼任	講師	井口 正寛 <令和4年4月> 学士(医学)	兼任	講師	井口 正寛 <令和4年4月> 学士(医学)
		脳・神経内科学※			脳・神経内科学※
兼任	講師	山岸 栄紀 <令和4年4月> 学士(医学)	兼任	講師	山岸 栄紀 <令和4年4月> 学士(医学)
		整形外科学※			整形外科学※
兼任	講師	小平 俊介 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	小平 俊介 <令和4年4月> 博士(医学)
		整形外科学※			整形外科学※

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 雄一 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	鈴木 雄一 <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学※			小児科学※
兼任	講師	川瀬 友貴 <令和5年4月> 学士(医学)	兼任	講師	川瀬 友貴 <令和5年4月> 学士(医学)
		がんリハビリテーション学※			がんリハビリテーション学※
兼任	講師	松本 貴智 <令和3年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	松本 貴智 <令和3年4月> 修士(社会学)
		コミュニケーション論※ 臨床心理学※			コミュニケーション論※ 臨床心理学※
兼任	講師	関野 啓史 <令和5年4月> 学士(医学)	兼任	講師	関野 啓史 <令和5年4月> 学士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	講師	藤巻 秀樹 <令和5年4月> 学士(医学)	兼任	講師	藤巻 秀樹 <令和5年4月> 学士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	講師	長谷川 靖 <令和5年4月> 学士(医学)	兼任	講師	長谷川 靖 <令和5年4月> 学士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	講師	黒岩 大地 <令和5年4月> 学士(医学)	兼任	講師	黒岩 大地 <令和5年4月> 学士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	講師	安田 恵 <令和6年4月> 学士(医学)	兼任	講師	安田 恵 <令和6年4月> 学士(医学)
		チーム医療Ⅱ(演習)※			チーム医療Ⅱ(演習)※
兼任	講師	箱崎 元晴 <令和5年4月> 学士(医学)	兼任	講師	箱崎 元晴 <令和5年4月> 学士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	講師	小川 洋 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	小川 洋 <令和4年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション医学※			リハビリテーション医学※
兼任	講師	西嶋 剣一 <令和4年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	西嶋 剣一 <令和4年4月> 博士(薬学)
		薬理学※			薬理学※
兼任	講師	西山 篤 <令和3年4月> 修士(工学)	兼任	講師	西山 篤 <令和3年4月> 修士(工学)
		医用工学※ 医用工学実験※			医用工学※ 医用工学実験※
兼任	講師	田中 明 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	講師	田中 明 <令和3年4月> 博士(工学)
		医用工学※ 医用工学実験※			医用工学※ 医用工学実験※
兼任	講師	山田 昭博 <令和4年4月> 博士(医工学)	兼任	講師	山田 昭博 <令和4年4月> 博士(医工学)
		医用工学実験※			医用工学実験※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 克彦 <令和4年4月> 博士(理学)
		医用工学実験※
兼任	講師	鈴木 健司 <令和4年4月> 博士(理工学)
		医用工学実験※

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 克彦 <令和4年4月> 博士(理学)
		医用工学実験※
兼任	講師	鈴木 健司 <令和4年4月> 博士(理工学)
		医用工学実験※
兼任	講師	黒田 純子 <令和3年4月> 学士(薬学)
		チーム医療Ⅰ(概論)※

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・兼任黒田純子講師が就任し「チーム医療Ⅰ（概要）」の一部を担当、兼任石井重亮講師の担当部分を一部変更。
- ・兼任馬場一晴講師が就任し「物理学Ⅱ」の一部を担当、兼任反町篤行准教授の担当部分を一部変更。
- ・兼任坪井聡准教授の辞任に伴い、「疫学・公衆衛生学」における兼任江口（大平）依里講師の担当部分を一部変更。

【令和4年度】

--

【令和5年度】

--

【令和6年度】

--

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	3	2	5	15	0	5	3	0	3	11	0
(3)	(3)	(0)	(3)	(11)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	3	2	5	15	0	5	3	2	5	15	0
[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{11} = \boxed{9.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)										
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
合計				後任補充状況の集計									
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時 (令和2年)</p>	<p>ディプロマ・ポリシーにおける「福島県の地域医療や災害医療」に対応する各科目において、シラバスの概要や各回のテーマに当該内容を教授する旨を明確に記載すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>ディプロマ・ポリシーにおける「福島県の地域医療や災害医療」に対応させた以下の科目について、シラバスの概要や各回の授業内容を修正した。【資料1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福島県の医療環境 ・ 危機管理学 ・ 環境と放射線 ・ 放射線医学概論 ・ 災害リハビリテーション論 ・ 地域理学療法学 ・ 地域理学療法学実習 ・ 臨床実習Ⅰ～Ⅴ 	<p>履行済</p>
<p>認 可 時 (令和2年)</p>	<p>「侵襲を伴う等の研究を行う場合」は倫理審査を受けることとしているが、侵襲の有無に限るのではなく、「人を対象とする研究を行う場合」とし、広く倫理審査を受ける研究体制とすることが望ましい。</p>	<p>助言事項</p>	<p>附帯事項を踏まえ、倫理委員会での倫理審査を要する研究を以下のとおり定めた「福島県立医科大学保健科学部における卒業研究に関する基本的な考え方（指針）」を策定することについて検討している。【資料2】</p> <p>（倫理委員会での倫理審査を要する研究）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者のプライバシーに関して、一定以上の開示を求める研究。 ・ 情報が漏洩した場合、かなりの被害が発生することが予想される場合。 ・ 研究方法の一部に、完全に安全であると断言できない手法が含まれている場合（身体への過剰な負荷や採血などの侵襲など）。 <p>また、倫理委員会での倫理審査の他、各学科においても、遵守すべき倫理項目の確認を行うこととする。</p>	<p>「福島県立医科大学保健科学部における卒業研究に関する基本的な考え方（指針）」を策定する。</p> <p>履行中</p>

認可時 (令和2年)	運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	遵守事項	保健科学部のメインキャンパスである福島駅前キャンパスから光が丘キャンパスへの移動が生じる授業科目については、授業時間に応じたシャトルバス運行を行うほか、移動時間に配慮した時間割としている。なお、運動場及び体育館を利用する授業科目は計画していない。 また、現在は新型コロナウイルス感染防止のため課外活動が制限されているが、活動が通常どおりに開始された場合、夕方から夜間にかけても定期運行を行うこととしている。	履行中	計画どおりにシャトルバス運行を行い、教育に支障のないようにすることはもとより、他学部の学生とともに課外活動を行えるような環境を整備する。
認可時 (令和2年)	教員の補充を必要とされた7授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	遵守事項	教員の補充を必要とされた7授業科目について、専任教員の配置を令和2年第4回AC教員審査に申請し、すべて「可」判定となった。	履行済	
認可時 (令和2年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項	完成年度(令和6年度)末において、専任教員15名のうち、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員が1名いる。定年退職となる教員の後任は、その退職前に公募制により(内部昇格を含む)同等職位以上の適材を確保することにより、若返りを図りながら教育研究の水準と体制を維持していく。	履行中	中堅・若手教員に対して、博士の学位未取得の教員の学位取得や研究業績の蓄積を奨励するほか、FD委員会が主導する教員の教育能力の向上に向けた研修等を実施することなどにより、上位職位への昇格につなげ、退職職員の後継として育成していく。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健科学部 理学療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

福島県立医科大学保健科学部ファカルティ・ディベロップメント委員会要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、福島県立医科大学保健科学部ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(組織等)

第2条 委員会は、保健科学部の教員若干名からなる委員をもって組織する。

2 前項に掲げる委員は、保健科学部教授会（以下「教授会」という。）の議を経て学部長が選任する。

3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じたときはこれを補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次に掲げる教員の質の向上に関する事項を審議する。

(1) 新任教員のオリエンテーション・プログラムの作成と実施に関すること。

(2) 教員研修の計画の作成と実施に関すること。

(3) その他、教員の教育能力の向上・開発に関すること。

(委員長及び委員会の招集)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会は、必要に応じて委員以外の者を出席させ、意見等を聴取することができる。

(結果の報告)

第6条 委員会の審議結果は、教授会に随時報告をする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、事務局保健科学部事務室において行う。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

上記のとおり、学部開設となる令和3年4月1日より、保健科学部ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下、保健科学部FD委員会という。）を設置した。年10回程度の開催を予定している。

なお、令和3年4月1日に新任教員オリエンテーションを開催するため、保健科学部の設置準備に従事していた教員から委員予定者を決定し、事前にFDに関する打合せ等を行い企画・実施を担った。

c 委員会の審議事項等

- ・新任教員のオリエンテーション・プログラムの作成と実施に関すること。
- ・教員研修の計画の作成と実施に関すること。
- ・その他、教員の教育能力の向上・開発に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・新任教員オリエンテーション
- ・FD研修会（年2回程度を予定）

b 実施方法

保健科学部FD委員会が企画・実施を担う。

FD研修会ではアンケートを実施することで参加教員の意見を次回の研修会に活かす。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年4月1日に新任教員オリエンテーションを開催し、39名が参加した。

※対象者は本学新着任の専任教員を中心とした20名であり、全員が参加した。

そのほか、令和2年度以前より学部設置に携わっていた専任教員も参加し計39名となった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今後FD研修会を実施する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教務委員会で集計結果の集計及び分析を行い、教育や授業の改善に役立てるとともに、集計結果については学内システム（教務システム）において学生・教職員が閲覧できるようにする。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

保健科学部では、豊かな人間性と倫理観を備え、生涯にわたり知識や技術を学び続ける意欲を持ち、併せて、地域社会に貢献できる専門医療技術者を育成することを目的としている。その目的の下、理学療法学科において養成する人材像は、「対象者に対して倫理観を持って接し、十分なコミュニケーションをとることで対象者と良好な人間関係を築きながら、多様で複雑な課題に科学的な思考で取り組み、身体機能の維持・改善に寄与できる理学療法士」、「生涯にわたって自己研さんし、理学療法の発展に寄与する研究を継続することで福島県の地域医療や災害医療に貢献できる人材」である。

開設初年度である令和3年度は1年次科目のみの開講であるが、設置計画のとおり、教養教育科目を中心としつつも早期から専門教育に関わる科目を受講し、学修意欲や自覚を高める科目配置としている。4月には、教養教育科目のうち「初年次科目」として位置づけた「福島県を知る」や「修学基礎セミナー」を開講し、大学生活を送る福島県についての理解を深めるとともに、大学での学びに対する意欲や学修の仕方について学んでいる。また、専門科目として1年前期から配置している「医学概論」や「リハビリテーション概論」、「理学療法学概論」、「チーム医療Ⅰ（概論）」等についても計画どおりに開講する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・業務実績報告書 毎年6月 公表
- ・自己評価書 平成29年6月 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・平成29年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による大学機関別認証評価を受審し、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、同機関が定める大学評価基準を満たしていると認定された。その結果は大学ホームページ上に公開している。

- ・次回の大学機関別認証評価は令和6年度を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。